

# 長岡京市第4次地域福祉活動計画

令和3(2021)年度—令和7(2025)年度版

一人ひとりが大切にされ、人と地域がつながる福祉のまちづくり

～だれかの課題はみんなの課題～



地域住民・企業・行政・ボランティア団体・NPO 法人等の協働により、公的な機関や制度だけでは解決できない生活上の**地域福祉**課題の解決に向けて、力を入れて取り組んでいく**活動**内容を示した**計画**

- ✓ 特徴① 社会福祉協議会の呼びかけで、地域住民等と一緒に戦略を練って策定
- ✓ 特徴② 地域住民等がそれぞれの役割分担を明確にし、さまざまな場面で連携・協働していける体制づくりを社会福祉協議会が支援
- ✓ 特徴③ 「自分たちのまち(地域)を自分たちで良くしていく」ために、自助、互助、共助の住民主体の力を活かした地域づくりを目指す

【自助】	【互助】	【共助】	【公助】
豊かな生活を送るために自身が努力すること	家族や友人等、個人的な関係を持つ者同士が助けあうこと	地域住民等が協力や協働し、豊かな地域づくりを行うこと	生活保護等、法律や制度に基づき、行政機関等が提供するサービス

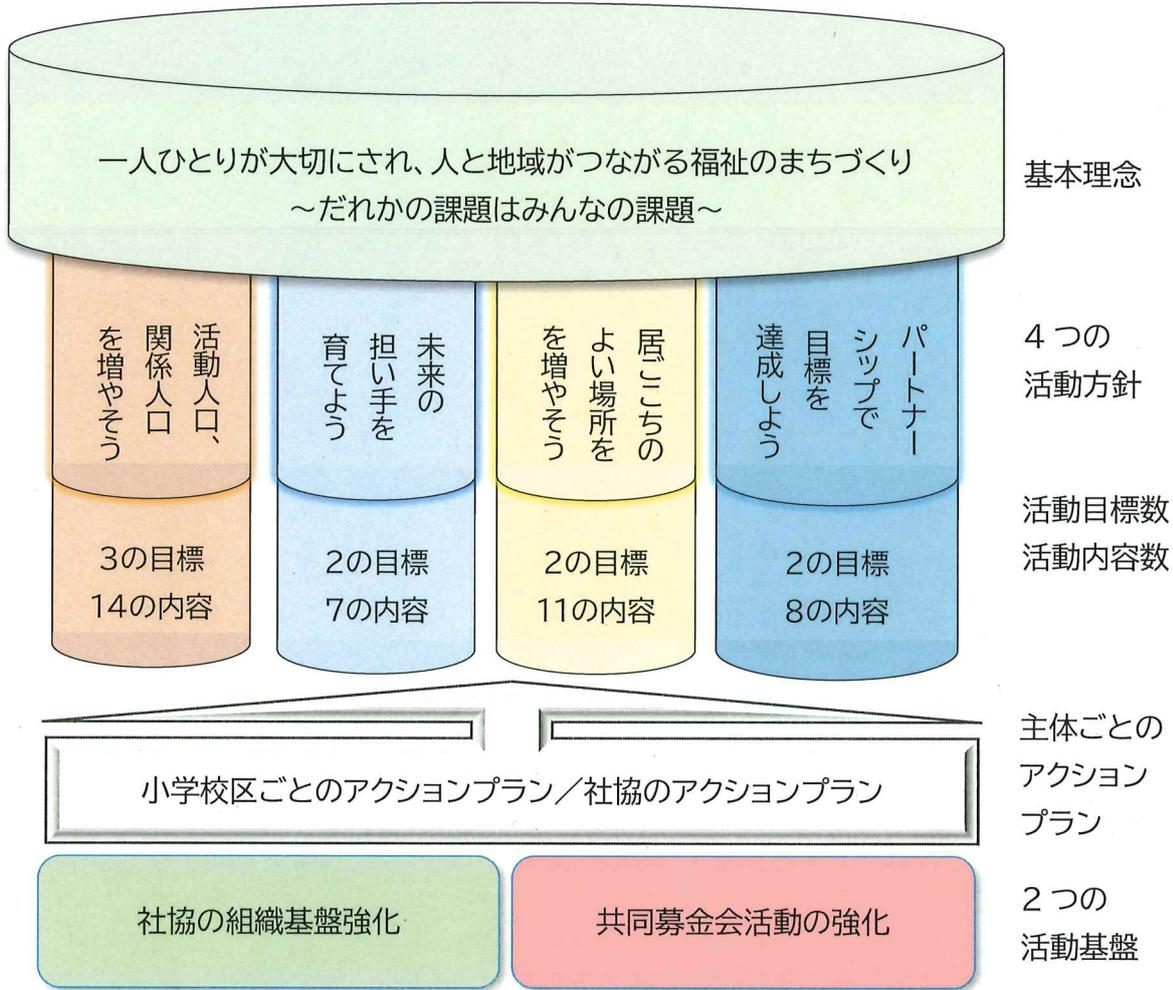
令和3(2021)年3月発行 長岡京市地域福祉活動計画推進委員会

【事務局】社会福祉法人 長岡京市社会福祉協議会

〒617-0832 京都府長岡京市東神足2丁目15-2

TEL.075-955-5601/FAX.075-952-2597

# 地域福祉活動計画の全体イメージ



## 《基本理念のキーワード解説》

### 一人ひとりが大切にされ

一人ひとりには生まれながらに皆平等であり、かけがえのない存在であるという基本的人権を尊重し、差別や偏見のない地域社会の実現をめざします。

また、「支援する人・支援される人」といった固定された価値観ではない、一人ひとりには皆違った素晴らしさを秘めているという個人の可能性を尊重します。

### 人と地域がつながる

地域で暮らす一人ひとりの市民や自治組織、地域で福祉活動をするさまざまな団体や福祉関係機関等が、お互いの立場や考えを理解・尊重し、身近な地域のことをみんなで考え行動していける関係づくりを推進します。

### ～だれかの課題はみんなの課題～

家族や友人といった身近な人だけでなく、同じ地域で暮らす“だれか”の課題も、自分たちの問題として捉え、地域全体で支えあい・お互いに助けあえることがあたりまえになる福祉のまちづくりをめざします。

**活動方針** 本計画の基本理念を達成する際の方向として、市全体で共通した傾向や課題から4つにまとめ、アイコンで表現しています

**活動目標** 4つの活動方針を達成するための手段、段階、目印です。状態を表す表現としています

**活動の内容** 活動目標ごとに具体的な『住民主体の活動の内容』を列挙しています

活動人口・関係人口を増やそう



**活動方針① 活動人口・関係人口を増やそう**

人口減少が進む中で地域を支えていくためには、一人ひとりが地域づくりなどさまざまな地域福祉活動に参加していくことが重要です。

地域において主体的に活動する担い手、地域づくりに積極的に参加する人の数を「活動人口」という言葉を用いて、地域課題の解決や豊かで暮らしやすい地域づくりのために取り組む人を増やすことを目指します。

一方の「関係人口」とは『地域に関わってくれる人口』です。継続的に地域福祉活動に関わる（心を寄せる・関心+係わる・関与）人の数を「関係人口」という言葉を用いて、何らかの形で地域を応援してくれる人を増やすことを目指します。

居ごこちのよい場所を増やそう



**活動方針③ 居ごこちのよい場所を増やそう**

地域の中に人それぞれの「居ごこちのよい場所」があることが、地域福祉の推進には重要です。地域に暮らすだれもが日常的にふれあえる場所や機会を、それぞれの地域に合ったかたちでつくっていくことを目指します。

また、人と人とのつながり、人々が交流できる場所・活動から、お互いに関心を寄せて気にかける関係、適度に見守りあえる関係、いざというときには助けあえる関係へとつなげていくことを目指します。

なお、新型コロナウイルスでの外出自粛により、交流の機会を失い、虚弱や認知症の進行等が生じる可能性が高まります。つながりを絶やさない場所づくりや活動を続けることでいかに救われる人たちが多いかを認識し、工夫して感染予防との両立を目指します。

## 小学校区ごとのアクションプラン

今後の活動について小学校区ごとで話し合いをして見えてきた「校区の将来像、めざしたい姿」の実現に向けて、具体的な行動へつなげていく必要があります。5年後までに、活動方針に沿って行動に移していく内容を小学校区ごとのアクションプランと位置づけ、「初めの一步」として進めていきます。

神足

- ・今持っている知識や経験を生かして、人から人に伝えていく活動をしていきます
- ・あいさつをふくめシニアの力を活用し、子どもや若者も顔がみえる地域づくりをします

長法寺

- ・小さいコミュニティを広げていきます！～まずは向こう三軒両隣から～
- ・自治会館等の場所の提供・拠点を通じて集まれる機会を作っていく・挨拶運動をします

長岡第三

- ・きずな・つながりを高めるための自治会の魅力発信をします
- ・今までのように人とのつながりを作っていくようにします

長岡第四

- ・子どもたちがやりたくなるような企画を考えるをします
- ・楽しく多世代交流をします

長岡第五

- ・あいさつを大切にします
- ・多世代交流で静かで自然な町づくりをします
- ・ラジオ体操で顔の見える関係づくりをします
- ・子ども達を巻き込み「含んで」多世代で交流をします

長岡第六

- ・色々なつながりを大事にします
- ・工夫した集まりをします
- ・100名リストづくりをします

### 活動目標①-1 「魅力あるまちづくりの主役はわたしたち」の意識を培おう

- 地域の掲示板や回覧板などの活用、SNS などの新たな方法により、まちづくりに関する活動の魅力を発信します
- 地域のことや福祉活動、自治会活動への関心を高めるきっかけづくりや啓発活動を行います
- 自治会活動の活発化と負担軽減の両立を目指しながら、自治会活動への参加者を増やす取り組みをします
- 自治会未組織地域では、地域活動への参加機会を増やします

### 活動目標①-2 世代や属性を越えてつながる機会をつくろう

- 地域の情報が共通の話題となるよう、日常的な会話や対話の機会を増やします
- 防災イベント、防犯パトロールなど世代を問わず関心の高い活動に取り組みます
- 自治会行事や運動会など楽しいイベントでの交流を通じて、知っている顔を増やせるようにします
- 高齢者とこどもの交流のきっかけをつくります
- つながりの少ない人・世帯・施設などこそ接点をつくり、相互理解の心を育てます
- 年齢や地域、障がいの有無を超えた仲間づくりをします

### 活動目標①-3 新たな活動者が活躍できる出番をつくろう

- 地域活動を通じて、高齢者や障がい者などだれもが活躍の機会と自分の役割をもてるようにします
- 参加したくなる活動を増やし、自発的に関わる人を増やします
- 仕事や生活と両立でき、負担感なくやりがいをもって続けていける人を増やします
- 求められている地域福祉活動が継続できるよう、後継者を大事に育てます

### 活動目標③-1 いろいろなテーマの居場所や活動をつくろう

- 新たな人も参加しやすい、魅力あるサロンや交流の場をつくります
- 当事者同士がつながる機会や集える場をつくります
- 新しい生活様式のなかで、つながることを途絶えさせない工夫をして活動します
- 身近な集まりや日常的な活動も大切にします
- 地域特性・校区の強みに応じた活動を進めます
- 地域の課題に応じた活動を進めます(例:孤立、貧困、引きこもり、フレイル・認知症の進行、転入者や障がい者等との交流希薄)

### 活動目標③-2 「お互いさま」で気かけあえる関係をつくろう

- 顔の見える関係がつかれるよう、あいさつ運動や散歩しながらの声かけをします
- 居ごちのよい緩やかな関係がつかれるよう、向こう三軒両隣のつきあいや自治会活動での居場所づくりなどで親睦を図ります
- いざというときに助けあえる関係がつかれるよう、徐々にお互いを知って安心感を高めていきます
- 思いやりの気持ちで見守り、優しさを感じながら見守られる関係性を大切にします
- 困っていることに気づける関係、困りごとを相談しやすい関係づくりを目指します

#### 長岡 第七

- ・多世代交流をします
- ・PTAの方々とつながる(学校開放・夏祭り・防災の話)ことをします

#### 長岡 第八

- ・①ふれあい活動を活発に、②防災に関するつながり作りを推進します
- ・大人、こども関係なく気軽に話しかけることをします

#### 長岡 第九

- ・小さな集まりや地域の行事をします
- ・九小ふるさとまつりをこどもが中心になってするおまつりにします

#### 長岡 第十

- ・一人一人が毎日のあいさつをします
- ・いろんな世代がつながるきっかけづくりをします

## 未来の担い手を 育てよう



### 活動方針② 未来の担い手を育てよう

地域福祉の基礎となるのは、他人を思いやり、お互いを支え、助けあおうとする気持ちです。こうした気持ちが生まれ、活かされるために、学校や関係機関と連携を図りながら、各小・中学校、高等学校、大学における実際の体験を通じた福祉教育の充実を目指します。

また、若い世代や子どもを介して子育て世代が参加したくなるよう、すでに取り組んでいる地域づくりや地域活動を世代間交流や地域におけるコミュニケーションの重要性等について理解を深める機会へと変化することで、地域福祉に携わる活動人口、特に若い世代の増加を図っていくことを目指します。

#### 活動目標②-1 こどもたちや若い世代が参加したくなる地域づくり・地域活動にしよう

- 昔遊びなど楽しい企画を通じて、高齢者の経験や知識、地域社会の情報、福祉の大切さを伝えられるよう工夫します
- ニーズや時代の変化を取り入れ、子どもや若い世代の参加しやすい時間帯・内容の活動をします
- 安心できる大人との関わりをもつことのできる、寺子屋のような場所を増やします
- こどもを主体とする地域活動の場を増やします

#### 活動目標②-2 地域づくり・地域活動にこどもたちや若い世代の力を活かそう

- こどもの発案を実現化する活動や、こども自身が担い手となる活動をします
- こどもを介して親世代とのつながりを深めます
- 若い世代から教わることのできる機会をつくります
- 自治会運営や地域活動を次世代につないでいけるよう取り組みます

## 17 パートナーシップで 目標を達成しよう



### 活動方針④ パートナーシップで目標を達成しよう

地域福祉の推進主体は「地域住民等」であり、そこには商店・企業、社会福祉法人・NPO法人など、住民だけではない民間のさまざまな主体が含まれます。自助、互助、共助、公助がそれぞれに役割を果たし、また、それらが組みあわさることで「地域で地域を支える」ことが実現するものです。

身近な範囲でのコミュニティ形成や地域福祉活動者・団体同士のサポートを始め、多様な主体とのパートナーシップ（協力関係）によって地域福祉活動を進めることで、そこで気づいた課題などを専門家につなぎ、また一緒に解決していくことを目指します。

#### 活動目標④-1 横断的なつながりをつくろう

- 活動団体・活動者同士でサポートしあえるよう、連携を強くします
- 自治会を中心としたコミュニティをつくります
- 自治会未組織地域では、自治活動に取り組む小さなコミュニティをつくります
- 公的な相談機関、社会福祉法人等との連携を深めます
- 商店・企業との連携を深めます

#### 活動目標④-2 ボランティアセンター、災害ボランティアセンターと協働しよう

- 講座などに参加して情報を収集し「誰かのためにできること」と出会います
- センターの拠点機能を活用し、無理なく活動を続けます
- 各小学校区で住民主体の災害ボランティアセンターが設置できるよう、取り組みを進めます

# (福) 長岡京市社会福祉協議会のアクションプラン

支援の方法(役割)として「次の5年間で取り組んでいきたい内容」として、20のアクションプランを進めていきます(支援の種別ごとに1つずつ掲載)。独自財源による実施、独自に実施する事業・活動については、ロゴマークであるなーちゃんを付しています。



## 1) 主体者である住民の活動意欲に沿った支援(をする役割)

住民の元気とやる気を保ち、勇気を後押しする支援を行います。

### サロン活動



サロンの主催者が、参加者の減少や固定化という課題の解消のために、新たな活動者が活躍できる出番をつくることに取り組んでいます。本会は、そのヒントとなる情報の提供や他団体との交流会の開催などにより、サロンの活性化を支援します。

## 2) 各種事業(サービス提供等)の実施における住民の参加支援(をする役割)

サービス提供本来業務とは異なる側面での役割も果たしていきます。「市民目線により事業を豊かにする」「少数者の課題を取り残さない」事業の展開を図ると同時に、「市民のまちづくりへの主体性を引き出す」「市民が社会との接点を失わない」支援を行います。

### デイサービス



病気や社会的な課題等により、地域の中で自分の居場所を失ってしまう恐れがあることを課題と捉えています。本会は、自分のペースで活動できるボランティアの場を提供し、その人らしく社会に参加し、力を活かすことのできる支援をします。

## 3) 地域を基盤とした横断的なネットワークの構築支援(をする役割)

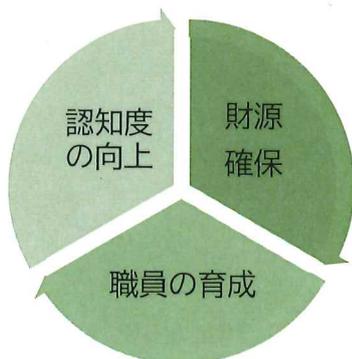
課題に対して、声や手を差し伸べる住民同士のつながりを広げていくなど、さまざまな場面でつながり、住民が主体的に地域に参画できるプラットフォームをつくります。また、地域づくり支援の専門職が、取り組み内容に応じた地域基盤に対し、「地域住民を客体化しない積極的な関与」をすることにより状況や課題を踏まえ、特性を活かした地域づくり支援を行います。

### きずなと 安心の 地域づくり 応援

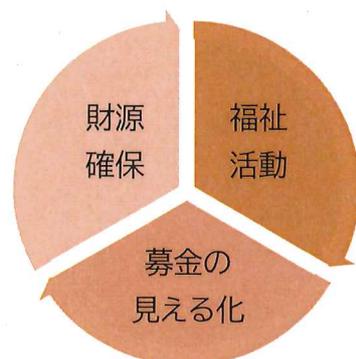


地域住民、地域コミュニティ協議会、自治会、老人会(やすらぎクラブ長岡京)、子ども会、民生児童委員、市民団体、関係機関、企業等が縦割りでない地域づくりにむけて連携強化に取り組んでいます。本会は、地域住民等の主体的な活動が継続するよう、小学校区単位のきずなコーディネーターを全市域に配置し、横断的なつながりづくりを支援します。

活動を支える基盤づくり



社協の組織基盤強化のために取り組むこと



共同募金会活動の強化のために取り組むこと